

火 知っ得

水

美味しい

木 ワクワク

金 安心

土 ハッピー

日 好奇心

あわら温泉は 無茶苦茶 おもしろい!

働く人が輝く取り組み

グランディア芳泉には今年、十三人の新入社員が入社してくれました。人手不足と言われているこの時代に、大変ありがたいことです。

旅館サービス業で働くイメージは、正直言ってかつてはあまり良くありませんでした。労働時間（拘束時間）が長い、賃金が安いといった理由でした。

もちろん、今でも旅館は一泊二食の形態がほとんどです。朝は早く、夕食時間がメインの仕事です。でも近年は旅館で働く人がもっと誇りを持ち、自分のライフスタイルと仕事を両立させ、輝きをもって働けるようにと、いろいろな工夫を凝らしています。

まずは、やりがいの創出。旅館の仕事には、接客サービ

旅館サービス業



スに加えて、営業、予約、客室管理、調理、外国人への英語対応、ブライダル、異業種とのコラボプラン作成、SNS発信など、多様な業種が詰まっています。これらを同時並行でこなしていく（マルチタスク）ことで、いろいろなスキルを身に付けることがで

きます。

すべての仕事が一人を幸せにすること」につながっています。業務の無駄を省き、お客さまと正対する時間を増やすことで、喜んでいただけるように努めています。新入社員を育てていくためには、社員間で認識のずれが生じず、個々に自己成長できる組織作りが重要だと考えています。先輩社員を相談役として置く「エルダー制度」を設け、一人で孤立して迷ってしまうことのないよう、社内組織を整備しています。

仕事の拘束時間を減らすため、朝から夜までの中抜け長時間シフトを減らし、社員みんなが勉強したり地域の方と触れ合ったりする時間を増やしていっています。また、各部署の目標を具現化し、社員一人一人のモチベーションを高めています。生産性や、お客さまからのアンケートの点数を賃金に反映させ、毎年上がっていくような好循環になるように取り組んでいます。この流れは新幹線開業でさらに加速していくと確信しています。

芦原温泉旅館協同組合の中

↑
グランディア芳泉に仲間入りした新入社員ら（辞令を手にした人）
あわら市のグランディア芳泉で

にある「交流委員会」では、異業種の皆さまとの交流を強化して、あわら温泉、旅館業を盛り上げていこうと取り組んでいます。その活動の一つに「人財講話プログラム」があります。

あわら温泉旅館の人材が生みの声を発信することで、サービス業の魅力を理解してもらおうという取り組み。福井観光連盟のご協力をいただき、大阪観光大学をはじめ、いくつかの教育機関で講話させていただきました。

大阪観光大学では、べにや旅館の奥村智代女将と、同連盟観光アクティビティ・スーパードバイザーの松尾章子さん、そして私が、それぞれの経験に基づいて、旅館で働く魅力や観光業のやりがいなどを若い世代に伝えます。

あわら温泉にご宿泊になる人や、来福していただいた方に幸せを感じていただく温泉地。さらには、ここで働く人も輝き、幸せになってもらう温泉地。そんな取り組みを、あわら温泉旅館全体で進めていきたいです。

新幹線開業に合わせて策定した、選ばれる温泉地となるための五カ年計画「あわら温泉Rebornプロジェクト」は始まったばかりです。テーマは「OUR LOVE

あわら温泉」。今後のあわら温泉にご期待ください。

さあいくぞ！ あわら温泉は今から無茶苦茶おもしろい。

グランディア芳泉 山口高澄常務



さあ
いくぞ!